

# 競技注意事項

2023 日清食品カップ

## 駐車場について

- (1) 地下駐車場は渋滞が予想されるため東より西進し、左折進入してください。(右折はおやめください)
- (2) 駐車場は混雑が予想されるので、なるべく公共交通機関を利用してください。

## 団体受付・リレーオーダー用紙提出について

- (1) 団体受付は、リレー種目に出場する団体は7時45分から、それ以外の団体は、最初の参加種目の2時間前から、団体受付(競技場外・正面玄関横南側)で行う。
- (2) リレーのオーダー用紙は、混合リレーのみ8時10分までに招集所へ提出する。4、5年混合リレーと混合リレーの決勝は、招集完了60分前までに招集所に提出する。(オーダー用紙は愛知陸協ホームページからダウンロードもできる。)

1 本大会は、2023年度(一財)愛知陸上競技協会小学生「友の会ルール」で行う。但し、コンバインド競技は、日清食品カップ全国小学生陸上競技交流大会の競技方法で行う。

## 2 アスリートビブス(ナンバー)について

- (1) 団体受付で配付する日清食品カップのアスリートビブスを胸と背に、配布された安全ピンで確実につける。
- (2) トラック競技の腰ナンバーは使用しない。

## 3 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップ場はレクリエーション広場とする。8時から最終種目招集開始時刻まで使用できる。
- (2) レクリエーション広場は、各競技開始時刻2時間前から入場できる。
- (3) 選手はアスリートビブスを提示し、チェックを受け入場する。
- (4) ウォーミングアップ場へは引率者が必要。(リストバンドをつける。)
- (5) ウォーミングアップ場では係員の指示に従う。
- (6) バトン練習は可。バトン以外の器具は使用できない。
- (7) 日清食品カップのリレーメンバー(補欠は除く)とコンバインドA選手のみ、8時30分～9時15分の時間、北陸上競技場(以下、北陸)でウォーミングアップができる。朝練習入退場口より、アスリートビブスを係員に提示して入場する。但し、リレーは第2コーナー・第3コーナーでバトンパスの練習のみ、ハードルは競技場内に用意したハードルを使用した練習のみとする。
- (8) 各種目練習に引率者団体1名が必要。(リストバンドをつける。)

## 4 招集について

- (1) 全競技招集所で行う。
- (2) 招集所は、北陸正面入口外、100mスタート側に設ける。
- (3) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは出場を認めない。招集指導は、引率者が行う。
- (4) リレーは出場者が4人揃って受ける。
- (5) 招集時間は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (6) コンバインド種目は、2種目めも招集を行う。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 競技者の入場は、競技者係の指示に従う。(招集所横、スタンド下北側入口)
- (2) 退場は全種目北ゲート(水濠付近)とする。
  - ① トラック競技
    - ・ 競技役員の指示に従い、各自で選手退場口から退場する。
    - ・ リレー競技も同様に移動する。(1走、2走はバックストレートを移動する。)
  - ② フィールド競技
    - ・ 競技役員の指示・誘導により移動する。

## 6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンは空ける。

## 7 競技について(友の会ルール)

- (1) スパイクシューズの使用はできるが、裸足での競技は禁止する。
- (2) スタートの方法は、クラウチングスタートとする(スターティングブロックを使用しなくてもよい)。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。失格となった場合は、本人の申し出があればオープン参加とし走ることは可能

だが、記録はない。)スタートコールは、イングリッシュコール。「On your marks」「Set」

- (3) 混合リレーのオーダーは、男女各2名から編成され、走順は自由とする。オープン種目リレーについては、補欠の選手の友好レースを設ける。リレーメンバー以外の選手がリレーを走った場合は、オープン参加とする。
- (4) 5年・6年100m及び混合リレーは、予選・決勝とする。
- (5) 80mハードルの規格

		台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
コンバインドA	男・女	9台	0.70m	13m	7m	11m
4年	男・女	9台	0.60m	13m	7m	11m

- (6) ジャベリックボール投の試技の際には、競技場内に準備してある炭酸マグネシウムをボールの先端に付け、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。助走距離は15m以内とし、試技は2回とする。
- (7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」に限る。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
コンバインドA 男・女	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30cmまで5cmずつ 以後3cmずつ
4年 男・女	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	1m08	以後3cmずつ

※ 当日のコンディションにより、最初の高さを調整する場合がある。

※ 2回連続して失敗した時点で終了とする。

- (8) 走幅跳の試技は2回とする。

## 8 コンバインド競技について

- (1) スタートまたは試技を行い、途中棄権(DNF)、記録なし(NM)、失格(DG)及び参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)の場合、得点は0点とする。
- (2) 1種目めに出場し、途中棄権(DNF)、記録なし(NM)、失格(DG)、参考記録の場合、2種目めの出場は可能とする。
- (3) 1種目めで欠場した(スタートまたは試技を行わない)競技者は、2種目めには出場できない。
- (4) 80mHと走幅跳における風速は、得点・順位に影響しない。
- (5) 走高跳は、2回連続して失敗した時点で終了、走幅跳及びジャベリックボール投げの試技は2回とする。
- (6) 1種目めまたは2種目めのいずれか、または両方において、途中棄権(DNF)、記録なし(NM)、失格(DG)、参考記録の場合、2種目めの合計得点は、コンバインドの得点として認められる。
- (7) 2種目めの合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

## 9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル・ジャベリックボール)は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) リレー・跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。フィールド種目のマークは2個まで使用できる。

## 10 競技用靴(スパイクシューズ)について

スパイクの数は11本以内で、長さ9mm、走高跳は12mmを超えてはならない。またスパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。

## 11 表彰について

- (1) 全国東海予選種目は、各種目1～8位に賞状、1～3位にメダルを授与する。オープン種目は、各種目1～8位に賞状を授与する。
- (2) 日清食品カップ全国小学生交流陸上大会の種目については、1～8位の表彰を行う。
- (3) 表彰式は行わない種目については、競技終了一時間後、「賞状受取場所」へ取りに来ること。
- (4) リレーの賞状は、決勝レースに走った人数分とする。(4名分)
- (5) 友好レースの表彰は行わない。

## 12 日清食品カップ全国小学生交流陸上大会について

- (1) 最終競技終了後に全国大会監督会議を野球場会議室で行う。(16:00頃予定)
- (2) 該当団体の代表者1名、必ず出席すること。

## 13 東海小学生陸上競技大会について

- (1) 2位から8位に入賞した団体は、団体受付で配布した「東海小学校陸上競技大会のお願い」の切り取り線以下の用紙を、大会当日中に団体受付へ提出する。
- (2) 選手決定後、該当団体へ電話連絡をする。(監督者会議は行わない)
- (3) 期日までに申し込むこと。

## 14 コーチエリアについて

- (1) コーチエリアは、ID着用の引率者のみとする。
- (2) 引率者は、競技招集完了時刻から競技開始時刻までにコーチエリアに入場する。また競技終了後すみやかに退場する。(競技中の入退場はできない。)
- (3) 走高跳とジャベリックボール投げのコーチエリアへの入退場は、選手退場口より行う。(入場時にIDを提示)

(4)コーチエリアでの指導を希望する団体は、朝の団体受付の際に申請をして、専用のIDを受け取ること(要返却)

## 15 スタンドへの入場について

- (1) スタンドへは、選手、引率者及び選手の家族が入場できる。選手はアスリートビブス、引率者はリストバンド、選手の家族は家族証を提示する。(再入場可能)家族証は団体より受け取る。(競技場での配布は行わない。)
- (2) スタンドでは、必ず席に座って競技を観戦すること。
- (3) スタンドでの応援は自分の子どもの出場種目のみとし、競技終了後は速やかに帰宅する。
- (4) 団体での場所取りはしない。
- (5) スタンドのコーチエリアには、ID着用の引率者以外は入らないこと。

## 16 その他

- (1) トラック競技では、フットリッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン(曲走路)を走り、減速し止まる。
- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も、他のレーン(チーム)の走者が全員通過し、競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
- (3) 氏名・所属等の間違い、訂正があれば、チームの責任者が団体受付に申し出る。
- (4) リストバンドをつけた引率者は、スタンド(2階スタンド南側入口)、レク広場(北西側入口)に入場できる。
- (5) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、団体受付に申し出たのち、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (6) 荷物はひとまとめにできるビニル袋またはバッグにまとめて管理をすること。(団体名・氏名を記入)
- (7) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任を負わない。盗難に注意すること。
- (8) 選手はスマホ及び携帯電話等の通信機器は競技場内には持ち込まないこと。

## 引率指導者の方へのお願い

競技注意事項は、指導者の方で参加者にご指導・伝達して下さい。  
招集時間内に招集し、速やかに競技場へ入場できる様に、指導者が誘導してください。  
置き引きが発生していますので、各自ご注意下さい。